

平和・自立・共生 ともにつくる黄金南風の平和郷・はえばる

はえばる議会だより

平成25年
9月定例会
No. 183
平成25年11月22日発行



平成24年度 決算認定 1年間の成果をふり返って..... 2

町道の変更・道州制導入反対の意見書..... 6

委員会レポート..... 8

議会活性化の取り組み..... 11

11人の議員が一般質問..... 13

写真 與那嶺 健さん(宮城)

「雨にも負けない」熱戦
町陸上100m60代決勝」

題字 新垣ちとせさん(宮平)

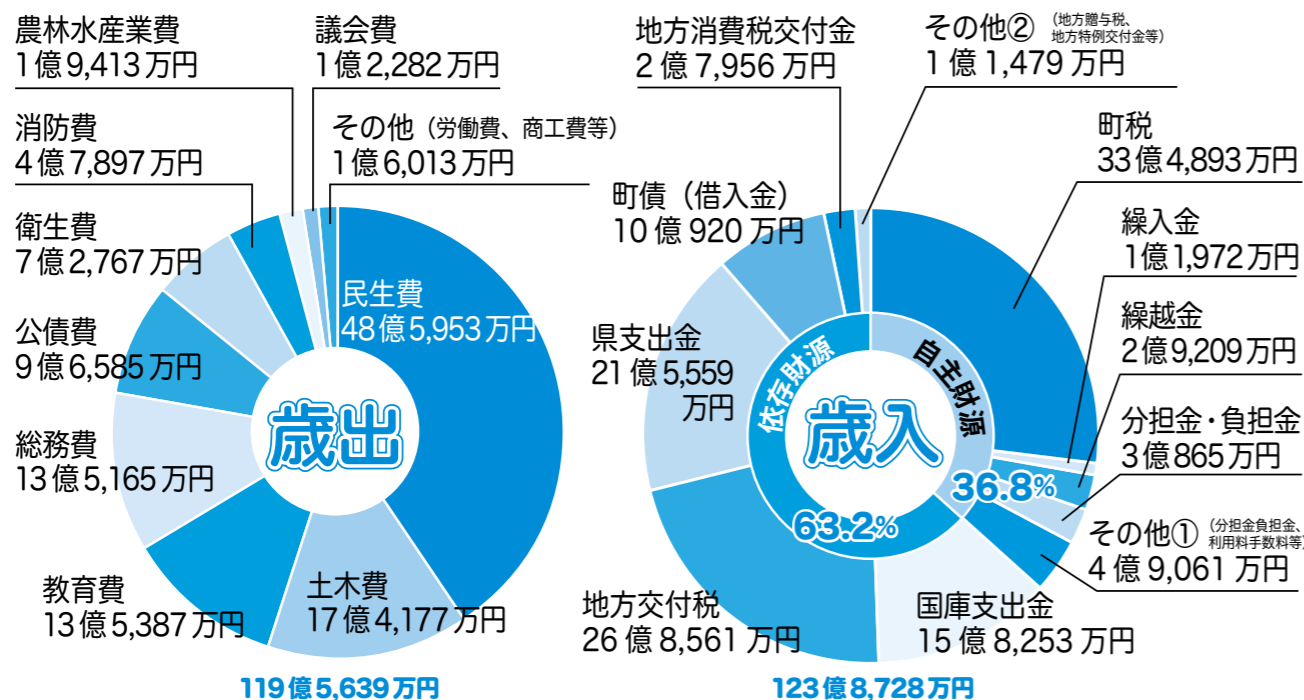


平成24年度 一般会計歳出 119億 5,639万円

特別会計を含み歳出総額 186億 8,198万円

決算

町税の徴収強化と 地方交付税増で黒字



9月定例会

9月9日～30日までの22日間の会期で開きました。平成24年度決算を中心に審議し、6会計すべてを認定しました。また、すべての議案を可決し、一般質問は11人の議員が質問しました。

一般会計決算は意見を付け認定

デジタル防災無線、情報の伝達徹底を

平成25年9月11日に全国瞬時警報システム(アラート)の斉訓練が行われた。しかし、本町のデジタル防災無線は作動しなかった。設置時における業者とのやりとりや機器の取り扱いを再確認し、ミスの原因を検証すること。再発防止の徹底を図ること。

また、意見に加え、提案と要望を提出しました。

デジタル防災無線への提案

デジタル防災無線でお知らせや音楽を毎日放送し、町民全体で防災無線の維持管理を確認してはどうか。

相談窓口強化の要望

自殺相談や悩み事相談への対応は夜間・休日を問わず必要である。いつでも相談を受けられる体制づくりを確立するよう要望する。

平成24年度 一般会計

町民1人あたり約33万円使いました。

(平成25年3月末人口 3万 5,941人、平成23年度約31万円)

民生費 13万 5,209円	土木費 4万 8,462円	教育費 3万 7,669円	総務費 3万 7,607円
公債費 2万 6,873円	衛生費 2万 246円	消防費 1万 3,326円	農林水産費 5,401円

町税歳入 6946万円増額

歳入123億8728万円、23年度より9%増、歳出は119億5639万円、23年度より8%増となりました。

歳入：自主財源は前年度比8%減となりました。要因に、基金(貯金)を取り崩すことなく運営したこと、繰入金82%の大幅減となったことが挙げられます。自主財源の大部分を占める町税は6946万円(2%)増額しています。徴収率96%(前年度95%)と収納強化が図られました。依存財源は、平成23年度の基準財政収入額算定誤りによる普通交付税減額分が24年度に措置されたこと、22%増となっています。

歳出：平成24年度に新設された沖繩振興特別推進交付金(一括交付金)事業が多いことが特徴です。毎年増加傾向にある扶助費(住民福祉のための経費)は24年度も児童手当や介護給付費等の増により、前年度より6%増えました。

用語の説明

歳入 町税：みなさまからの税金 繰入金：町の貯金を下ろして使う金額 国・県支出金：使う目的が決まっている国や県からの補助金 地方交付税：自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額 町債：町の借金	歳出 民生費：お年寄りや児童福祉、保育所の運営 土木費：道路や公園の整備 教育費：幼稚園・小中学校教育や生涯学習 総務費：職員人件や役場全体の管理 公債費：借金(町債)の返済 衛生費：ごみ処理や予防接種
---	--

■各会計別の決算(歳出)■

会計	平成24年度	平成23年度	増減額	増減率
一般会計	119億5,639万円	110億7,938万円	8億7,701万円	7.9%
特別会計				
国民健康保険	46億1,921万円	43億2,928万円	2億8,993万円	6.7%
後期高齢者医療保険	1億9,137万円	1億7,777万円	1,360万円	7.6%
下水道事業	7億1,362万円	6億6,101万円	5,261万円	8.0%
土地区画整理事業	11億6,150万円	13億4,310万円	△1億8,160万円	△13.5%
農業集落排水事業	3,989万円	3,518万円	471万円	13.4%
合計	186億8,198万円	176億2,572万円	10億5,626万円	6.0%

下水道事業

- ・人口普及率=56.4%
(町民半数以上が利用可能に)
- ・整備済地域の接続率は85.9%で6%増です。

後期高齢者医療保険

保険料徴収率 99.6%
(滞納繰越分含む)
*75歳からの医療保険

国民健康保険

給付費の増で歳入(収入)より歳出(支出)が多くなりました。実質収支額は約2億3千万円の赤字です。

土地区画整理事業

物件補償が難航しています。そのため、平成25年度に持ち越した工事も少なくありません。
*津嘉山北地区の区画整理に利用される会計

農業集落排水事業

各地区の接続率は…
・神里地区:79.1% (0.5%増)
・宮城地区:73.1% (4.8%増)
*対象地域は上記2地区

特別会計

平成24年度決算の特徴



監査委員の指摘

代表監査委員 稲福 清
議会選出監査委員 玉城 勇

*審査期間 7月8日〜8月2日
*意見提出 9月2日

財政は総じて健全に運営され、町民生活に密着した施策の成果があったことは評価される。しかし、依然として依存財源の比率が高く、厳しい財政運営となっている。

【国民健康保険医療費の軽減を】
加入者1人あたりの医療費が前年度より1万円増加している。課題として医療費の抑制対策が必要である。

【給食費の徴収率アップを】
徴収率が低下し、滞納繰越分の増加もある。十分な事前調査や先進地の調査研究、法的手段を含めた工夫で徴収強化を図ること。

【町の借金を減らす努力を】
前年度と比べ、町債が増えている。事業実施の際は、十分検討すること。



適正な財政運営に努めるよう町長に決算審査意見を提出

現場調査

決算審査のため、議員全員で現場を調査しました。町のお金が適正に利用されたか、直接外向き確認しました。

防災無線基地局

防災カメラの導入や自動電話応答装置、大型モニターが基地局の特徴です。

問 テスト放送では役場庁舎内は放送が聞こえづらかった。庁舎内の放送をどう考えているか。

答 ラジオ型の個別受信器設置を準備中である。緊急時に携帯電話に向けて発信するエリアメールでの対応も考えている。

宮城公園整備

テニスコート、フィットネス施設を再整備しました。健康遊具を実際に利用し、効果を確かめました。

さんご保育園

安心こども基金により、増改築を行いました。定数は30人増え、150人になりました。3月から新園舎で保育しています。

●今後の保育園全体の定数は…

平成25年度 1230人(90人増)
←ていだ保育園の増築
平成26年度 1260人(30人増)

本部公園整備

子どもたちが安心、安全に楽しめる遊具としてかぼちゃをモチーフとした「チンクワランド」を造りました。

北丘幼稚園

保育室、給食受室を増設しました。



津嘉山北土地区画整理(警察宿舎前付近)

警察宿舎前の区画整理事業の進捗を確認しました。



山川長堂川管理道路舗装

川への転落を防ぐため、25年度に転落防止柵を設置することを確認しました。



強化型パイプハウス設置補助

11棟に補助しました。制度の周知徹底を図るよう指摘しました。



宮城区農業用排水施設

南風原ダムからくみ上げた水を自然庄で宮城区の畑に送ります。今回、場所を移し、再整備しました。



小規模多機能ホーム・はえはる

介護認定された町民が対象。通い・泊まりができる介護施設です。
(お問い合わせ) 889・8790



条例

全会一致で可決

委員会・会議の
設置条例を制定

子ども・子育て会議

保育教育のニーズ調査により、子ども子育て支援計画（平成27年度～5年間）を策定します。
計画策定のため、有識者・保護者・関係機関・公募委員で構成した「子ども子育て会議」を設置します。

観光振興計画委員会

町は既存観光資源の利活用と新たな観光資源の育成創出により、観光振興と観光機能の充実に取り組みます。
推進の具体的な位置付け、方向性の指針を示す計画策定のため、委員会を設置します。

新エネルギー計画委員会

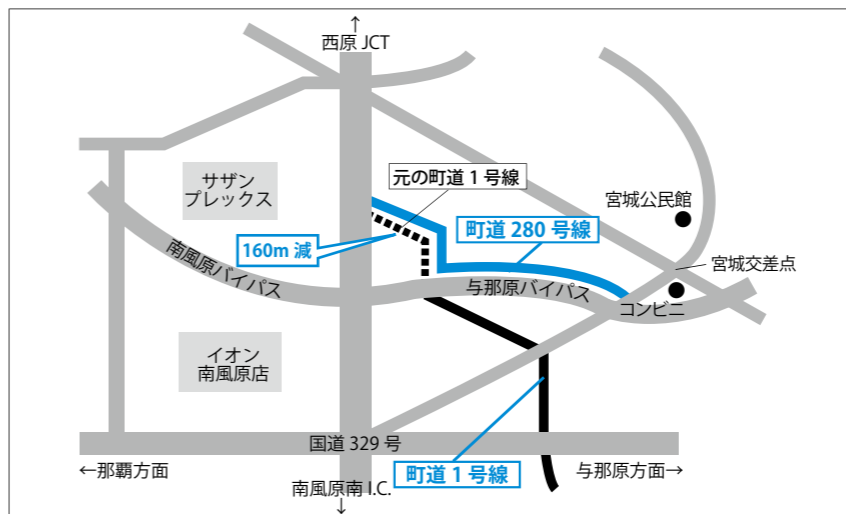
エネルギー安定供給対策や、地球温暖化対策として、町内に新エネルギーの導入促進を図る必要があります。
その方向性など指針を示す計画を策定するため、「新エネルギービジョン策定委員会」を設置します。

町道認定

全会一致で可決

町道の変更・
認定しました

南風原・与那原バイパスの整備により、町道1号線が160m短くなりました。そして、新たに町道280号線を認定しました。



補正予算

全会一致で可決

平成25年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ3億2千240万円を追加し、総額127億6千848万円としました。

一般会計補正の主な内容		補正額
歳入		
個人町民税（6月末調定に基づく）		3,897万円
安心こども基金補助金（補助率100%）		4,261万円
歳出		
農地台帳・農地地図情報一元化システム構築		193万円
宮城公民館改修（一括交付金利用）		358万円
認可外保育園補助金		430万円
津嘉山公園整備工事費		2,401万円

特別会計の補正	補正額
国民健康保険	4,998万円
後期高齢者医療	577万円
下水道事業	221万円
土地区画整理事業	1億4,815万円
農業集落排水事業	143万円

賛否分かれる	採決の結果	玉城光雄	照屋仁士	赤嶺雅和	花城清文	赤嶺奈津江	知念富信	宮城清政	金城好春	宮城寛諄	大城毅	浦崎みゆき	玉城勇	上原喜代子	大城真孝	中村勝
道州制導入に断固反対する意見書	可決	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	—
津嘉山北土地区画整理造成工事（12-4）の請負契約について	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：中村勝議員は議長のため採決に加わっていません

意見書

道州制に断固反対！
意見書を賛成多数で可決

道州制導入の具体的ななかたちを示さないまま、導入ありきの内容の法案が国会に提出されようとしている。

道州制が導入されると府県の廃止だけでなく、ほとんどの町村は事実上の合併を余儀なくされる。住民と行政の距離は格段に遠くなり、住民自治が衰退することは明らかである。

町村は住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。大規模な団体は住民を置き去りにするものである。
多様な自治体の存在を認め、個々が活力を高めることこそ国力の増強につながると確認する。よって、道州制導入に反対する。

提出者 宮城清政
あて先 衆参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官 他

*意見書から一部抜粋しています

議案

津嘉山北土地区画整理
工事契約を承認

条例では5千万円を超える工事は議会の議決と定められています。

提案の工事は、当初4378万円であったため、議会の承認は不要でした。
しかし、工事箇所の追加により、変更後の工事金額は5340万円となりました。

今回、契約締結前に議会の議決を得ていなかったため、追認（さかのぼって同意を得ること）をしました。

併せて、町長（10%）、副町長（5%）の10月の減給処分案も提出され、可決しました。

議会は、事務手続きの見直しと、職員研修の強化などで再発防止策を講じるよう、強く要望しました。

地元産品・企業の
優先使用を

南風原町商工会と県産品奨励実行委員会の構成団体から、地元産品の奨励と、地元企業の優先使用について、陳情（要請）がありました。

議会は、地元産品の需要拡大を図り、町内・県内企業の育成強化と雇用拡大の促進を図ることを確認し、全会一致で採択しました。



県産品奨励の要請書を受け取る玉城光雄副議長

委員会レポート

議案をより深く審査するため、必要な書類、資料を求め、2つの所属委員会に分かれ、担当課へ質疑しました。

総務民生委員会

委員長：宮城清政 副委員長：上原喜代子
委員：玉城光雄・花城清文・金城好春
大城毅・浦崎みゆき

ごみ減量と環境学習

問 生ごみの減量化に向けてどのような取り組みをしているか。

答 生ごみ処理機等購入補助金を交付したり、ダンボールコンポストの講習会を行っている。

処理容器

1世帯につき2基まで、購入額の8割補助します。(限度額6千円)

処理機(電気式)

1世帯につき1台、購入額の5割補助します。(限度額3万円)

問 大型家具のリサイクルを那覇リサイクルセンターへ委託するなど検討できないか。

答 情報収集を行いリサイクルのしくみを検討したい。

経済教育委員会

委員長：知念富信 副委員長：赤嶺奈津江
委員：照屋仁士・赤嶺雅和・宮城寛諄
玉城勇・大城真孝

給食費の徴収強化を

問 過年度の給食費の徴収目標数値と達成度はどうか。

答 平成23年度の徴収目標は滞納額の25%であるが、12.5%と目標を下回った。それ以前の滞納は4%が目標であるが平成16～22年度は平均して2.8%で目標を下回った。

問 徴収対策はどのように行っているか。

答 給食センター職員で一斉徴収している。不在時は電話で徴収対策したい。



給食センターでの調理風景

問 子どもたちへの環境学習が重要であるが、どのように取り組んでいるか。

答 環境学習支援事業として、4年生を対象に模擬買い物ゲームを行っている。買い物を通してごみ減量やリサイクルを意識した生活環境を考える学習である。また、はえばるエコセンターと児童館が一緒にエコツアーも行っている。
住民環境課 889・4414



小学4年生の買い物ゲーム

新たな就学援助の周知徹底を

問 経済的な理由で学校生活に支障をきたさないようにと就学援助している。平成24年度から範囲が拡大されたが、具体的な内容はどうか。

答 小中学生の保護者に学用品、就学旅行費、給食費の援助を行っている。平成24年度から新たにクラブ活動費、生徒会費、PTA会費も援助の対象となった。

問 新たに援助対象となったクラブ活動費などについては周知徹底を行っているか。

答 全生徒に対して通知し、活用されている。クラブ活動費は、大会前にユニフォームやシューズの購入が多く、8月頃に申請が多い。

問 就学援助を希望する場合、年度中でも申請できるか。

答 年度の途中からでも申請できるが、援助開始は申請を受け付けた月からとなる。また、前年度援助を受けている場合でも、毎年申請が必要である。
教育総務課 889・2620

総合相談業務の強化を

問 自殺や虐待相談があった場合どのように対応しているか。

答 DVや子育て、介護など内容は多様である。連絡会議を持ち、情報共有に努めている。

問 気軽に相談できる体制をつくるべきではないか。

答 既存の相談窓口の強化に努めたい。

社会福祉協議会

ふれあい福祉相談室

889・6270

一般相談

月～金 9～12時・14～16時

【法律相談】予約制(二週間前)

第2・3・4木曜日 10～12時

【サラ金相談】予約制(一週間前)

第3水曜日 10～12時

保健福祉課

平日8時半～5時15分

【高齢・障がい者】(役場2階)

889・4416

【健康】(ちむぐく館)

889・7381

子どもたちの登校支援として

問 登校支援員の役割やサポート内容はどうか。

答 中学校区にそれぞれ1人配置している。不登校ぎみの子ども宅を訪問したり、電話相談に応じている。

問 サポートが必要な児童生徒はどのくらいいるか。

答 対象児童は1校で3人前後いる。学校生活に適應できるようサポートすることで、効果が出ている。

町内産農作物の商品開発を

問 へちまやかぼちゃを利用し、商品開発をしたい事業所も多い。商品開発や販売の取り組みができないか。

答 農作物の加工より、生産量を上げることにニーズがあるため、野菜や果実そのものの販売促進に努める。また、スターフルーツとへちまの2品目に絞り、商工会のプロジェクトチームと商品開発に取り組んでいる。

議会運営委員会・議会活性化調査特別委員会

これからの議会運営を考える 県外議会議長会と意見交換

議会運営委員長：大城真孝
議会活性化副委員長：赤嶺奈津江

宮城県仙南地方町村議会議長会が10月29日に研修のため本町議会を訪れました。

研修テーマ

南風原町の議会運営や議会活性化の取り組みを学ぶ

大城真孝議会運営委員長は、「本町は、南部の交通の要所であり、人口も増え、さまざまな住民ニーズが出てきた。議会も開かれた議会」を目指し、議会活性化に取り組んでいる」とあいさつしました。

本町議会では、平成25年12月に議会基本条例の策定を目指しています。それにともない、毎年1回以上の「活動報告会」や議会のインターネット配信など町民に近い



活発な議論がある視察受入となりました

議会を目指していることなどを報告しました。

仙南地方議長会議員からは、報告会の周知や内容の充実が今後の検討課題になるのではないかと、議員の資質向上も今後は必要になるのではないかとという意見もありました。

今回の受け入れは、他県の活動を知るよい機会になりました。

臨時会
11月11日

一括交付金1千130万円が内諾
沖縄振興特別推進交付金を活用した事業が
新たに国から認められました。

※事業費の80%が交付されます。

健康レシピ集を作成

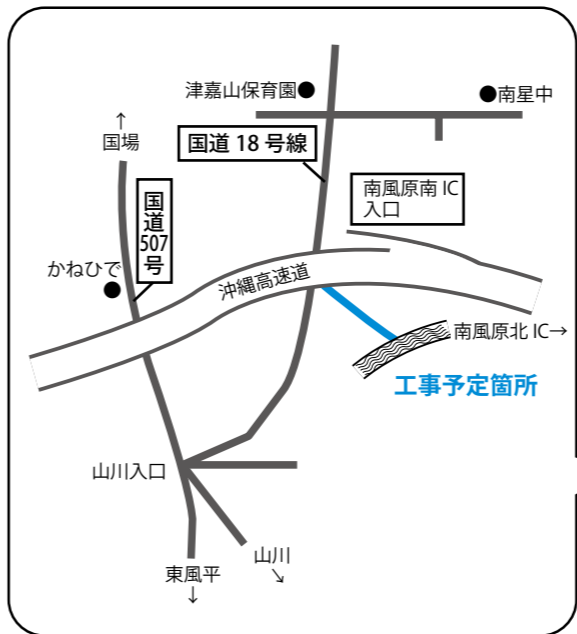
事業費 548万円

生活習慣病の発症や重症化を予防するため、肥満解消レシピを作成します。カレンダー付きレシピ集とし、毎日の生活で利用できるようにします。

農道整備で品質確保

事業費 582万円

津嘉山地区にアスファルト未舗装の農道があります。運搬の際に農作物に傷が付くのを防ぐため舗装し、農作物の品質確保と安定供給を図ります。



農道整備予定箇所

追跡

あの指摘どうなった!?

指摘

基準財政収入額の算定誤りにより、地方交付税が大幅な減となった。その減を補うため、基金(貯金)を崩したことで残額も減る結果となった。

事務処理ミスを防ぐため、業務マニュアルの徹底とチェック体制強化を図ること。

(平成24年9月定例会)

業務執行の見直しや資料管理のチェック体制を再確認しました。また、データ作成を手作業ではなく、システムから抽出・集計できるよう改修を図りました。

どんなことに使えるの?

具体的な内容はこれから検討しますが、次のような経費を考えています。

- 調査や視察の交通費など
- 研修・会議の開催や参加するための費用
- 広報誌や報告書の作成費
- 要請や住民相談の活動費
- 書籍や資料の購入費

今後検討すること

議員の調査研究活動の実態を踏まえながら、本町の政務活動費はいくらが妥当か、議論を重ねる必要があります。また透明性を確保するため「領収書添付の義務づけ」や「使途基準の制定」も検討課題のひとつです。

おわりに

町民福祉の向上や地域発展には、先進地を知るなど各議員の学習がますます重要になります。ルールをきちんと確認しながら政務活動費を導入することの大切さを再認識しました。

指摘

商工業振興審議会が平成23年度は開かれていない。商工業振興と地域経済発展のため、審議会が開かれることが妥当である。必要な事項を早急に諮問すること。また、審議委員の人は広い視点に立ち選任すること。

(平成24年9月定例会)

平成25年1月に審議会を開催し、10委員を任命しました。委員長に商工会会長の赤嶺和雄氏、副委員長にセゾン社の大城清氏が承認されました。商工業振興の案件審議と情報交換に努めています。

議会基本条例制定に向け
役員職員と意見交換

議会は議会基本条例の制定を目指しています。議会活性化調査特別委員会は議論を重ね、条例案を作成しました。

条例が制定されても、行政の協力がなくては「開かれた議会」「活発な討議」など議会改革はできません。

そのため、議会活性化調査特別委員会は11月5日に役場の部課長と意見交換を行い、理解を求めました。活発な意見が飛び交い、相互理解を図ることができました。



スムーズな議会運営のため細かい点まで確認

議会改革は一步一步から
政務活動費の導入を目指し研修会を開催、
議員の資質向上と情報公開の重要性を学ぶ



沖縄県町村議会議長会 石垣安秀氏

はじめに

南風原町議会は、議員の調査活動の充実を図るため、「政務活動費」を検討しています。平成26年4月の導入を目指し、講師に沖縄県町村議会議長会の石垣事務局長を招き11月5日に研修会を行いました。

政務活動費とは

議会の活性化を図るためには、その審議能力を強化していくことが必要不可欠です。政務活動費は議員の資質を高めるための調査研究費です。

透明性の確保が重要

一定の調査費が助成されるため、使途が不透明であってはなりません。収支報告書などの情報開示に努めます。



新たな制度導入に向け、自主的に研修会を開催

議員研修

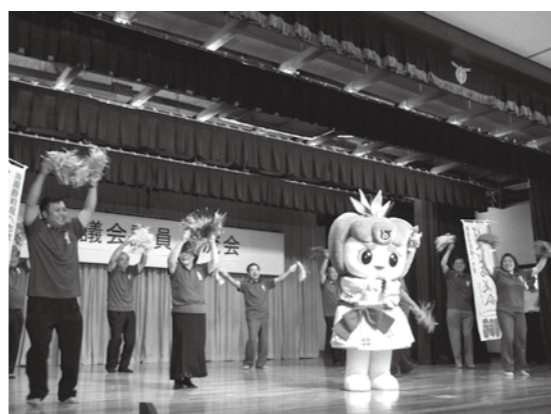
道州制と鉄軌道から 町村自治を考える 交流会では南風原町をPR!



研修で学んだことを政策提案につなげます

10月30日に本部町で行われた町村議員の研修会に参加しました。
研修テーマは道州制と鉄軌道で、将来の町村自治と深く関わる重要な内容です。
立命館大学教授の平岡和久氏は道州制導入を地方交付税

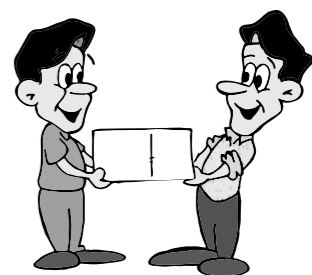
廃止の行く末を含めて講演しました。本町議会も9月定例会で「道州制反対」の意見書を可決しています。町村の自治を維持しながら、隣接する地方都市との連携・共同を図ることが重要になると再認識しました。
また、鉄軌道など新たな公共交通システム導入の調査結果が、沖繩県企画部の謝花喜一郎氏から報告されました。県は那覇〜名護間を約1時間で結ぶ高速の小型鉄道の導入を検討しています。南部振興には那覇市の主要駅と末端交通との連携による総合交通体系の構築が必要であると学びました。



はえると一緒に踊ったビューリーダンス

研修会後の交流会では、南風原町のPRをしようと、10月20日の「はえらんフェスティバル」で決定したオリジナル泡盛「南風原」の紹介やはえらんグッズの配布を行いました。また、南風原産へちま「はえばる美瓜」PRのためにビューリーダンスを踊りました。
資質向上や産業振興のため今後も積極的に研修参加や町のPRをしようと士気が高まる機会となりました。

議会改革 答弁書を事前配布



議論の活性化と時間の有効活用を図るため、一般質問の方式に「答弁書の事前配布」を実施しました。

議員個人は「一般質問」として町政全般への意見や質問を行うことができます。一般質問を行う議員は、質問内容や趣旨を事前に町長等に伝えなければなりません(通告)。
9月定例会から一般質問に対する答え(答弁)の内容を明確にし、充実した議論とすするため事前に答弁書を受ける方式に変更しました。

施策を問う **ここが聞きたい**



花城 清文 議員

食物アレルギー事故は 対岸の火事ではない

問 給食の食物アレルギーによる幼児死亡事故が報じられたが、これは対岸の火事ではない。現場では急性症状を防ぐため、薬剤エピソードが必要な場合もあるという。幼稚園や学校現場での取り組みはどうか。
副町長 対象児童のいる幼稚園は2園あり、1園で研修会を開催し、1園で保護者からの対処指導を受けた。小中学校は保護者、主治医、消防と連携している。

給食エプロンを問う
問 古くなったエプロンは取り替えて欲しいとの意見がある。町民の声を町政へ届けることも議員の大事な仕事であるため質問するが、どう考えるか。
教育長 各小中学校の判断で予算請求をし、必要に応じ取り替える。

問 幼稚園でも給食が開始された。園児の自主性を高めるため、準備や手伝いも良いと思うが、現場の取り組みはどうか。
教育長 2つの幼稚園は給食エプロンを保持し、園児も配膳等を手伝っている。

しまくとぅばの保存を
問 南風原町にしかない「しまくとぅば」の保存継承に取り組んでどうか。また、地域によって独特のなまりが



公民館のうちな〜ぐち入門講座も盛況

ある。CDなど音声で残してはどうか。
教育長 保存継承に努め、CDについても検討したい。

新川の道路環境整備を

問 昨年も新川43番地内の私道を町道に認定してほしいと質問したがどうなっているか。道路行政は固有事務ではないのか。地域の議員や自治会長が動かないと行政が動かないということでは困る。
副町長 今後も交渉を重ね、認定に向け進めたい。道路に関しては自治体業務だと考える。

問 新川180番地、213番地付近の町道は冠水対策を以前にも質問した。早急に改修すべきであるがどうか。
副町長 応急対策としてグレーチング蓋(網目状の蓋)を設置し、対応したい。

長寿日本一へ



宮城 寛諄 議員

問 長寿日本一を取り戻すにはどうしたらいいか、という視点から質問する。県では健康長寿復活に向けた県民会議を立ち上げるといふ。一人

一人の意識を高め、自分自身の問題として真剣に向き合うことが、長寿県を取り戻すには必要だと思う。また、行政は健康に暮らせる環境づくりを行うことが必要に思う。

健康長寿社会を築くため、町の具体的な事業と目標は何か。

副町長 健康づくりの推進、介護予防の充実を目標とした事業

を展開している。具体的な数値目標として、特定健診受診率は平成24年度が45%であるが、29年度は60%を目指している。

問 沖縄県は65歳未満の死亡率が全国ワーストである。通院診察より、入院診察が多く、重症化してから病院に行くからだと言われている。所得が全国一低い中で、通院費用がない人や、保険税が払えず保険証がなく通院できない人も少なくない。それも原因の一つではないかと思うが、どう考えるか。

副町長 働き盛り世代は、仕事優先で、自分の健康に無関心になりがちである。重症化してから受診する例が見られる。生活習慣病は自覚症状があまりないと聞く。気が付かないうちに重症化するのが現状だと見ている。また、国民健康保険税の引き下げは厳しい。

「非核平和宣言の町」の標柱で恒久平和PRを

問 1982年、町は全国に先がけて非核宣言を行い、標柱を立てアピールしてきた。

その後ほとんどの市町村が宣言を行っている。ところが本町では道路工事などで標柱が撤去されたままとなっている。今後の再設置計画はどうなっているか。

副町長 兼城十字路の電光掲示板を利用し表示している。固定式の標柱については、適当な場所を検討して対応したい。



南風原町平和の日ピースウォークでは戦跡を巡り恒久平和を願いました

カンナの花でまちおこしを



金城 好春 議員

問 町が音頭をとり、まちぐるみでカンナの花を植え、南風原町をカンナの花が咲き乱れるまちにすることはできないか。

副町長 カンナの花を含め、町民との協働による景観づくりや緑化のしくみ構築を検討していきたい。

問 世界中の珍しいカンナの花を集め、のちのち、カンナの花まつりの開催を目指すことはできないか。

副町長 これまで町花・町木コンテストを実施してきた。提案の花まつりも含めて検討していきたい。

問 幼稚園、小中学校、公園、町道等にカンナを植えることはできないか。

経済建設部長 役場前の交差点からちむぐる館向けに町職員がカンナを植えた。引き続き推

進していく。公園も、管理状況をみながらカンナの植栽を検討していく。

教育部長 町道のカンナは、街路の花として大変美しい。校内への植栽も学校と調整して取り組めるように検討したい。

問 ふるさと博覧会でカンナの花の苗を無料配布できないか。

問 ストレリチアの苗は、ストレリチア研究家の鈴木勇太郎氏が二つの異なる品種をかけ合わせ、優良品種が作られ、販売されている。しかし、鈴木氏は高齢で、後継者もいないと聞いた。このままでは苗の入手ができなくなる恐れがある。そこで、鈴木氏が所有する二つの親株を町が買い取り、JAに苗の増産を委託できないか。



ストレリチア生産は日本一

副町長 これからJA津嘉山支店と調査検討していきたい。

こんな質問もしました

・津嘉山北土地区画整理区内の歩道整備を早急に



本部公園線にカンナ 500 本を植え付けました

問 本町の自主防災組織の結成はどのようになっているか。

副町長 町内での結成はまだない。今後、地域や福祉関係機関と連携して結成を推進していきたい。

問 結成を促進するため公民館などに出向く「出前防災講座」を積極的に行う考えはないか。また、現時点でどのような講座を検討しているか。



津嘉山地区での津波被害を想定した避難訓練（給水の様子）



浦崎 みゆき 議員

副町長 組織の育成のため出前防災講座も検討したい。
総務部長 災害時にはさまざまなことが要求される。そのため、テーマを絞った出前講座にすることも一つの手と考えている。

問 災害時要援護者名簿が市町村に義務づけされたが、本町の取り組みはどうか。

副町長 今年度、地域防災計画の見直しを予定している。見直しと併せて名簿作成ができるよう調整する。

生活学習環境の提供を

問 中央公民館の研修室や視聴覚室、ちむぐくる館を学習スペースとして町民に提供できないか。

教育長 公民館では18講座46サークルが活動しており、部屋の調整が必要な時もある。その

他の利用は対応が厳しいと考える。ちむぐくる館も突発的な貸出は、管理面などで難しい。

黄金森公園を観光資源に

問 黄金森公園の頂上からは南風原町一円を見渡せる。観光客や高齢者が気軽に頂上まで登ることができるよう工夫できないか。

副町長 頂上に登る工夫としてリフトやケーブルカー設置が考えられる。しかし、公園事業では補助対象外であることから、施設の整備は困難であると考えている。他事業で整備するにしても、その有効性や公園整備への影響、維持管理など検討すべき課題が大きいと考える。

こんな質問もしました
・家庭ごみ処理機でつくる堆肥と花の苗を交換し、ごみ減量の推進を

学習に集中できるように 教室にクーラーを



大城 毅 議員



授業中は扇風機を使用

問 教室等の望ましい環境として学校環境衛生基準では、児童生徒に心理的負担をかける温度は夏場で25〜28度とされている。実態はそれに適合しているか。

教育長 9月19日の測定では28〜32度となっており、学校衛生基準より高い教室もある。

問 すべての教室が望ましい温度を実現すべきである。クーラーの設置を進めるべきではないか。

教育長 普通教室へのクーラー設置は予定がしていない。

	小学校	中学校
南 城市	2校で設置 (残り2校は改築時に設置予定)	設置なし
八重瀬町	1校設置 (残り3校は改築時に設置予定)	設置なし
豊見城市	1年生教室のみ設置 (他学年は改築で年次的導入)	3年生教室のみ設置 (他学年は改築で年次的導入)
西原町	設置なし	設置あり
中部地区	おおむね設置されている	

問 普通教室へのクーラー設置を進めている県内自治体の状況はどうか。
教育長 近隣市町の状況は、次のとおりである。

問 32度の教室もあり、基準という「児童生徒に生理的・心理的負担を与えていることになる。那覇市は平成25年度末に、小学校81%、中学校92%、幼稚園78%の教室がクーラー設置になる。昨年6月議会で宮城寛諄議員に町長は次のように答弁している。「クーラーを設置すると子どもたちは外に出なくなる。ひ弱な子どもたちになるのではないか、少々の暑さは我慢できる。体力も弱くなる」。これは学校環境衛生基準に真つ向から反対するものではないか。

町長 基本的に、普通教室にはクーラー設置を当面しない考えである。

こんな質問もしました
・認可保育園を増園せよ
・子ども医療費の年齢拡充と現物支給制度づくりを
・南斎場建設の一部崩壊事故で町負担は増えないか
・土地区画整理工事(12・4)の事務処理経過は



赤嶺 奈津江 議員

町立体育館・プールの建設を

問 昼夜を問わず利用できる町立体育館の建設はできないか。

教育長 現在、夜間に学校の体育館を開放している。土・日曜は昼間も学校の体育館が利用可能である。教育委員会としては、今のところ町立体育館の建設は考えていない。

問 学校施設のように、下部に体育館、上部にプールのような施設を建設できないか。

教育長 町立体育館と同様に今のところ、建設の予定はない。

問 一般の方が平日利用できる体育館やスポーツ施設を建設すべきと思うが、町長の考えはどうか。

町長 昼間に町民が利用できる施設を建設してほしいという要望は聞いている。今後は優先順位を考えることも大事かと思う。

スポーツ合宿・キャンプ誘致を

問 2020年のオリンピックが東京で開催されること決定した。多くの自治体がオリンピックに向けたキャンプ誘致を表明している。当町も行ってはどうか。

副町長 町もプロスポーツのキャンプや一流選手の合宿等を誘致したいが、本町には宿泊施設がなく、現状の施設では誘致できる環境にはない。現時点で誘致活動は大変厳しい。



町陸上競技大会では多くの選手がスポーツで交流

学校備品・消耗品の購入について問う

問 小中学校の実習室などの小道具が古く、使い勝手が悪い。町は学校の小額備品や消耗品を定期的にチェックし、購入の検討をしているか。

教育部長 小道具等は各学校が確認し、必要に応じて購入をしている。老朽化や破損について教育委員会が直接学校に向いてのチェックは行っていない。

問 6校分をまとめて購入すれば安く購入できると思うが、今後検討できないか。

教育部長 現場の先生方にも連絡をして検討していく。

こんな質問もしました
・寡婦控除みなし適用の拡充を

問 広報誌を全戸配布できるようにしてはどうか。自治会加入の促進にもなるのではないか。

副町長 近隣市町村と同水準のため委託料の増額は考えていない。広報誌は全世帯への配布をお願いしている。

総務部長 配布のしくみは区長自治会長と調整して考えていきたい。

問 法人も住民サービスを受ける権利があるのではないか。町内の法人に対しても、町広報誌を配布してはどうか。

総務部長 すべてに配布となるとそれなりにコストもかかる。まず調査させてもらいたい。

こんな質問もしました
・一括交付金初年度の効果と今後の活用は

問 一番嫌がられるのは「たらい回し」である。窓口が本町の第一印象を決める。スムーズに対応されているか。

住民環境課長 チェックシートを準備し、漏れがないよう丁寧親切に説明している。

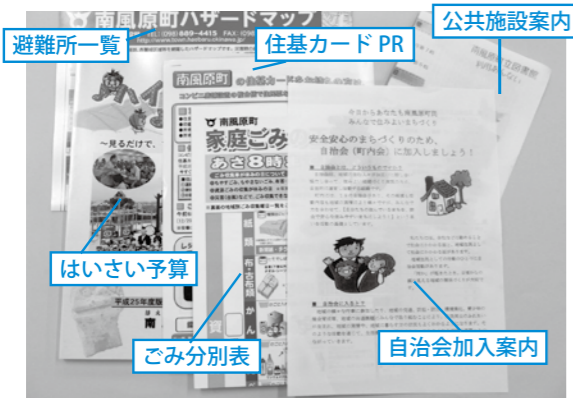
問 行政のさまざまな諸連絡、調整等が自治会には事務委託されている。自治会の協力を得て、町行政が成り立っている以上、町も自治会をフォローしながら、自治会に加入してもらえような施策を展開するべきと考えがどうか。

総務部長 町のフォローが十分な部分もあるため、自治会とも調整して取り組んでいきたい。

問 協働のまちづくりのためには、情報の共有は不可欠である。区長会との協議により、事務委託料の値上げをし、町

問 転入者や新世帯が住民登録に来た際、各種手続きをどのように対応しているか。

副町長 窓口での転入手続きの際に、健康保険・介護・学校の転入等、諸手続きの有無を確認し、関係課へ案内している。また、ごみの分別ポスターや住民基本台帳カード作成、ちむぐくる館、中央公民館、自治会加入案内チラシ等の転入セットを渡し、手続きの漏れがないよう対応している。



新しい町民に配布する転入セット

新しい住民(個人・法人)にやさしいまちに



照屋 仁士 議員

問 観光協会の推進する民泊はどのような状況か。
経済建設部長 民泊受入家庭は町内に21か所ある。観光協会は民泊を推進しているが、現時点で町内へ民泊に来ることが決まった団体はない。

問 観光協会が旧社会福祉センター跡を宿泊施設として改修できないか要請しているが、どのように考えるか。
副町長 宿泊施設の改修にあたっては、観光協会、商工会とも意見交換して、調査検討していきたい。

問 JAファーマーズマーケットの計画はどのようになっているか。
副町長 南風原ファーマーズ建設は、地権者全員に測量の同意を得て測量に入っている。今後開発許可申請を提出する予定と聞いている。



知念 富信 議員

優秀建設工事の表彰制度を

問 公共工事の施工技術の向上や建設業者の育成を図るため、優秀建設工事表彰を規定する考えはないか。
経済建設部長 平成26年度から優秀建設工事の表彰を実施している。そのために、すでに実施している自治体の資料収集を行い、町の要綱づくりを進めている。

問 工事表彰を平成24年度、23年度までさかのぼって表彰する考えはないか。
経済建設部長 現在の完了検査での評価は細かく規定されていない。優秀の判断がしづらい点数になっている。当時の竣工検査の成績評価による表彰が可能かどうかを含め検討したい。

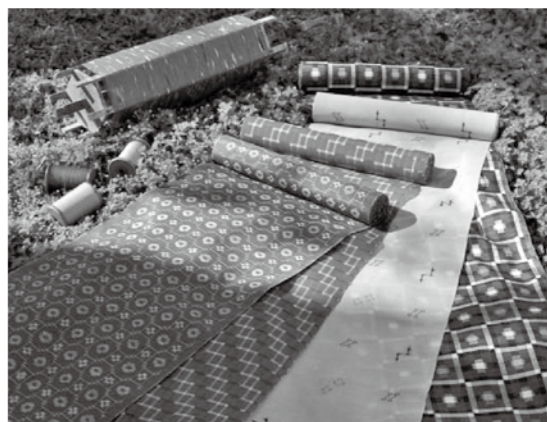
問 工事の完了検査はどのように審査しているか。
経済建設部長 検査は工事成績評定表で評価している。検査員

による。優秀の判断がしづらい点数になっている。当時の竣工検査の成績評価による表彰が可能かどうかを含め検討したい。

拠点づくりで観光振興を図れ



宮城 清政 議員



琉球絨など特産品の販路拡大は観光振興にもつながります。

問 ファーマーズが建設されたあと、町特産品の販売拠点としてJAに要請すべきと思うがどのように考えるか。
副町長 建設が決定したら、町の特産コーナー設置をJAへ要請していきたい。

経済建設部長 提案のとおり、町の特産品の販路拡大が大きな課題である。建設が決まり次第、正式にコーナー設置が実現できるように図りたい。

は施工状況、出来高および品質、出来栄を点数化する。そして、一定の点数に達しているかを3段階(優秀・普通・不合格)で評定する流れである。

夏休み短縮でゆとり教育を

問 総合学習が増え、授業時間の確保が難しいかと思う。児童生徒に負担はないか。
教育長 新教育課程は小学校で

平成23年度、中学校で平成24年度から実施している。総合的な学習の事業時数は減少し、国語や算数(数学)など教科の授業時数が増加している。そのため時数増に対する負担は少ないと考える。

問 夏休みを一週間短縮し、ゆとり教育を実践している市町村がある。本町も取り入れる考えはないか。

県営住宅再生計画を問う

問 県の報告書によると、最終計画案として第一団地は90戸、第二団地は460戸が最適とされているが、どう思うか。
副町長 報告書の第一団地90世帯で自治会運営が危惧される。住民アンケート結果でも自治会は200世帯以上を要望しており、町もそれを尊重する。

問 県の計画によると翔南小の児童は減り、津嘉山小が増えるがどう思うか。
副町長 津嘉山小は区画整理も進み、児童の増加が見込まれる。翔南小は横ばい状態のため、第二団地は現在の戸数維持が望ましい。

問 第一団地と一緒に県へ要請できないか。
町長 町は自治会と同じ考えを持っていて、行動を共にがんばっていききたい。

教育長 地域や字の伝統文化等へ参加するための時間は大切である。南城市や伊江村でも夏休み短縮を導入しているため、選択肢の一つと考える。教育委員会でも十分な議論と意見集約をしながら校長会と意見交換を行い、本町の取り組みを議論したい。

平成25年度全国学力学習状況調査(町の平均点と県平均点との比較)

南風原町	国語A	国語B	算数A	算数B
小学6年生	1.4点 下回る	0.6点 下回る	2.5点 上回る	1.5点 上回る
県平均点	58.3	45.5	73.3	54.4
南風原町	国語A	国語B	数学A	数学B
中学3年生	0.4点 上回る	1.5点 上回る	0.9点 下回る	0.7点 下回る
県平均点	69.2	62.4	53.2	29.8

町立保育所を 相談窓口として 位置付けできないか



玉城 勇 議員



町立・認可保育園合同の障がい児保育研究発表会

問 障がいやアレルギー等を持つ乳幼児保育への指導・助言ができる職員を町立保育所に配置し、各園からの相談窓口とすることができないか。

副町長 町立宮平保育所は指導的立場ではなく、互いに研鑽を深める立場である。障がい児保育は専門医師に依頼し、障がい児巡回指導や研修会などを年6回開催しており、指導・助言できる体制を整えている。アレルギー対策は、各法人保育園と連携し、学習会や研修会を増やし対応したい。

子ども・子育て支援は

問 南風原町子ども・子育て会議はどのような調査・審議を想定しているか。

副町長 子ども・子育て会議は、

- 教育保育施設の利用定員
- 地域保育事業の利用定員
- 事業計画策定・変更
- 子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進

に関し、必要な項目を調査・審議することを想定している。

問 「幼保連携型認定子ども園」の認定を検討しているか。

副町長 現段階で認定子ども園の認定および移行は検討していない。国の指針を考察しながら本町に必要な検討していく。

認定子ども園とは…
保護者の就労の有無に関わらず、施設との直接契約により利用する幼稚園や保育園。

集落内に停止線・ハンプの取り付けを

問 停止線とハンプ(凸状の道路面)を必要な地域に取り付けられないか。

副町長 停止線やハンプは通行に危険や混乱を招くおそれがある。道路の安全性を確保する観点から、配置は困難と考える。交通安全対策として、注意喚起看板等を設置し、対応したい。

南風原ダムの計画は

問 南風原ダムの浚渫工事を県に要請できないか。

副町長 平成20年3月25日に県知事と町長との間で管理委託協定書を締結した。全額南風原町が負担する内容となっているため要請はできない。

商業街の扉を開け

問 照屋前原地区は、国道507号の通過地点であり、商業地域として最適である。食料館を誘致できないか。また、食料館などの企業や事業者の安定を図るため、津嘉山の安平田原地区に300世帯規模の団地を誘致してはどうか。そうすることで、本町の商業街の扉を開くことが図れるのではないか。

副町長 両地区は土地利用構想の新規産業ゾーンに含まれる。今後、新規産業地区開発の具体的な取り組みのなかで検討したい。

本町へ鉄軌道の導入を今すぐに



玉城 光雄 議員

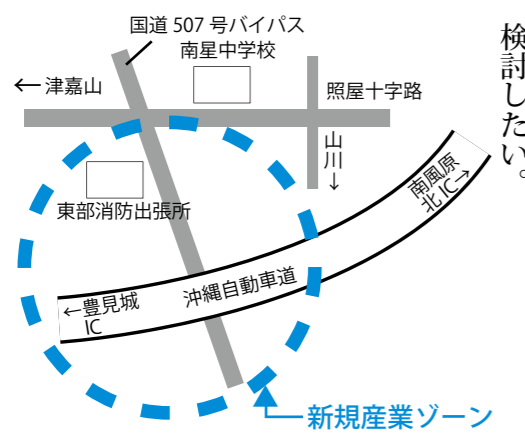
一億国民の国旗、世界にアピールを

問 国旗掲揚は内閣府大臣総務課の所管で、「国旗及び国歌に関する法律(平成11年法律第127号)」の中で「国旗は日章旗とする」と明記されている。一億国民を担って、法の定める国旗を本町の役場庁舎前に終日掲揚できないか。日本国の誇れる国旗を掲揚することで世界に広く、大きくアピールすることができるのではないか。

副町長 国旗掲揚は今後も慎重に対応をしたい。

問 沖縄県は鉄軌道の導入が本土と比べて100年近く遅れをとっている。鉄軌道の整備を早期に導入すべきではないか。那覇空港から泉崎バスセンターを経由し、国道329号を通り、国道331号の南城市安座真サンサンビーチを終点とするルート計画はどうか。南部の国際化都市形成を推進するために、東南アジアの玄関口とした鉄軌道計画を要請できないか。

副町長 現時点では導入に向けた具体的な話し合いは持たれていない。



町民の 声

気軽に議会傍聴を

宮平ハイツ
渡名喜庸順さん

最近、町議会議員と四方山話をする機会があり、「町議会を傍聴したことはありませんか」と聞かれました。

考えてみれば、国会中継をテレビで見たくらいです。私を含め、周りに町議会を傍聴した人は皆無でした。議会は敷居が高い印象があり、気軽に傍聴に出向くことに躊躇してしまいました。

果たしてそうでしょうか。実は行政に日頃関心が薄く、町民として積極的に意見を申し上げるほどの関心を持たないのでは。問題や課題

が発生した時だけ評論家に変身し、意見具申する自分自身が正直なところではないでしょうか。

町主催の会合等で多くの議員と接すると、議員は町の発展のために真剣かつ地道に活動し、町民からも種々アイデアを求めていることが分かります。

私たち町民も日頃感じる課題解決に向け、情報やひらめきから浮かぶ素敵なアイデアやまちづくりに対する思いを気軽に語ることも必要ではないでしょうか。南風原町の発展に貢献できるように心がけたいと感ずる今日この頃です。



宮平保育所付近 信号機を設置

議会は通園・通学時の事故防止のため「信号機設置に関する意見書」を平成24年11月に可決し、関係機関に直接要請をしてきました。

危険箇所として信号機設置を要望していた宮平保育所前交差点に信号機が設置され、11月14日に点灯式が行われました。



宮平保育所の園児と関係者による渡り初め

次回定例会の開会予定
12月10日(火) 午前10:00

広報委員会

- 委員長 金城好春
- 副委員長 知念富信
- 委員 照屋仁士
- 委員 大城毅
- 委員 浦崎みゆき
- 委員 上原喜代子

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしております。ご意見・ご要望も広く募集しています。

連絡先 議会事務局(担当:広報・調査係 翁長)

TEL.889-3097 FAX.889-4499

E-Mail:H8893097@town.haebaru.okinawa.jp

編集後記

9月定例会は前年度の町運営が適正かを審査する重要な議会です。振り返ると本町は平和行政に力を入れていくと実感します。

第1回「南風原町民平和の日」記念事業が10月12日に開催されました。

平和の日は、去った3月定例会で全会一致により可決され、条例が制定された経緯があります。

私もピースウォーキングに参加し、平和ガイドの説明のもと町内を巡りました。

与那原町大見武の収容跡地で多くの友人が戦死したという当時の状況を新垣源吉郎さんと與座章健さんから聞きました。証言を通して「命ど宝」を学びました。

平和ガイドの会の皆さんが平和に向け調査・研修していることに感謝し、町議会も平和行政に取り組んでまいります。

(担当 金城好春)